

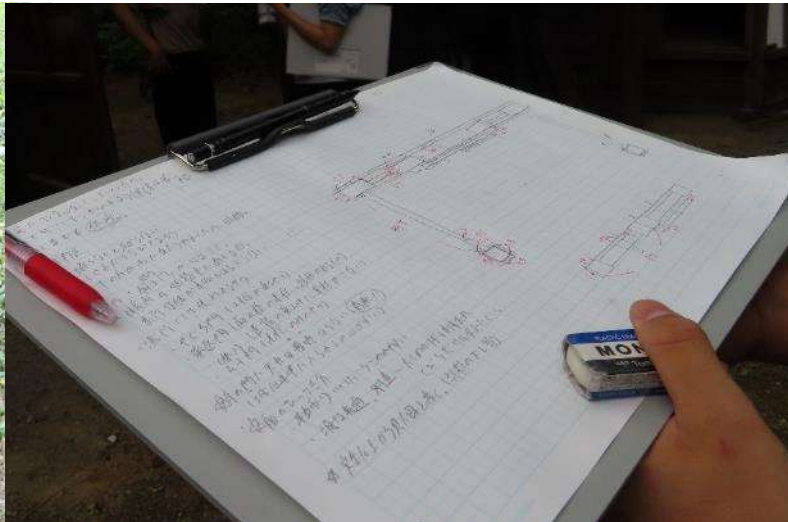
愛媛県西条市における 陣屋建築の文化資源的特色

文化資源マネジメントコース 佐藤研究室

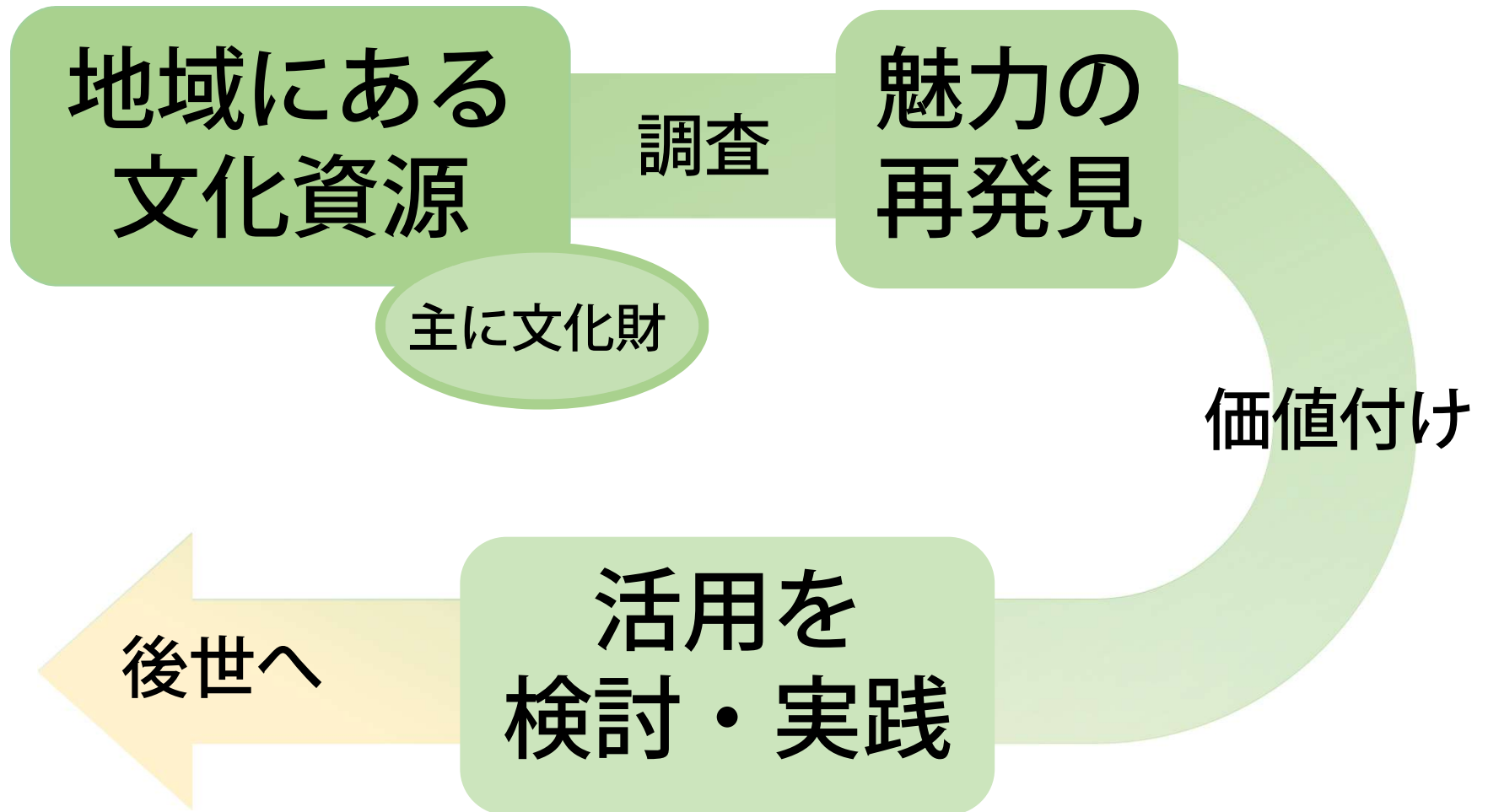
乾乃梨 丸尾遥 稲田遥香
高市彩花 高橋ひより 多田祐希



文化資源マネジメントコース



はじめに



概要

調査地：愛媛県西条市

調査対象：西条陣屋・小松陣屋の門

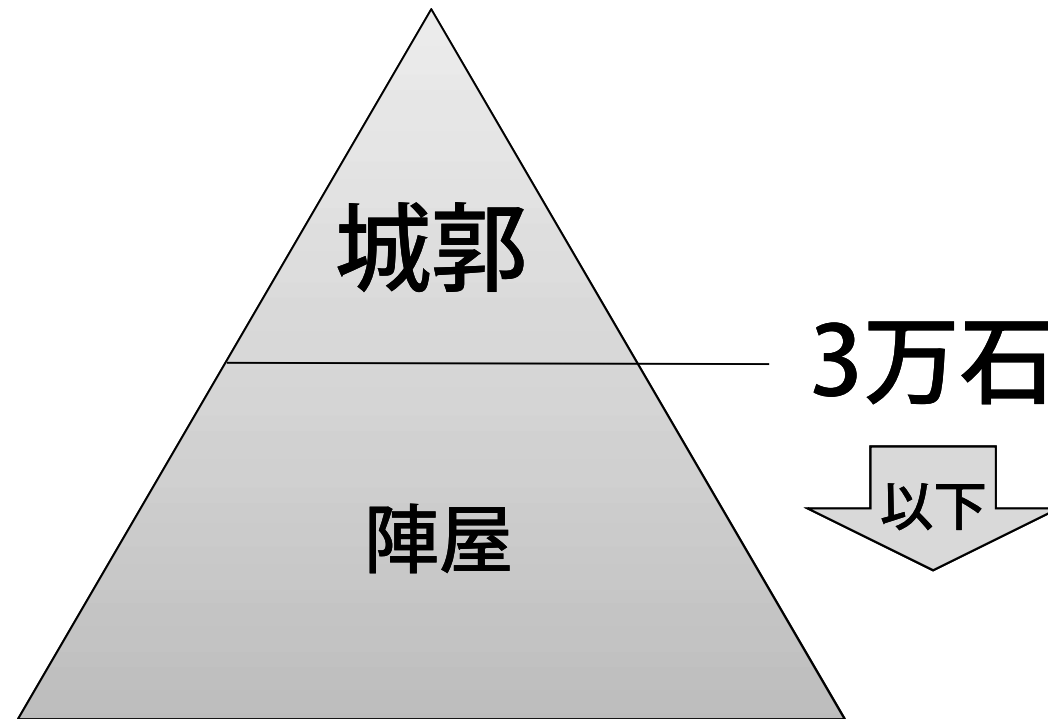
調査方法：実測調査・痕跡調査・写真撮影・聞き取り

⇒ CAD製図・文献調査をもとに、

西条と小松の相違点、門の格式などについて考察

陣屋とは

陣屋：藩庁が置かれた屋敷



簡素 ⇒ 保存意識(低) ⇒ 現存(少)

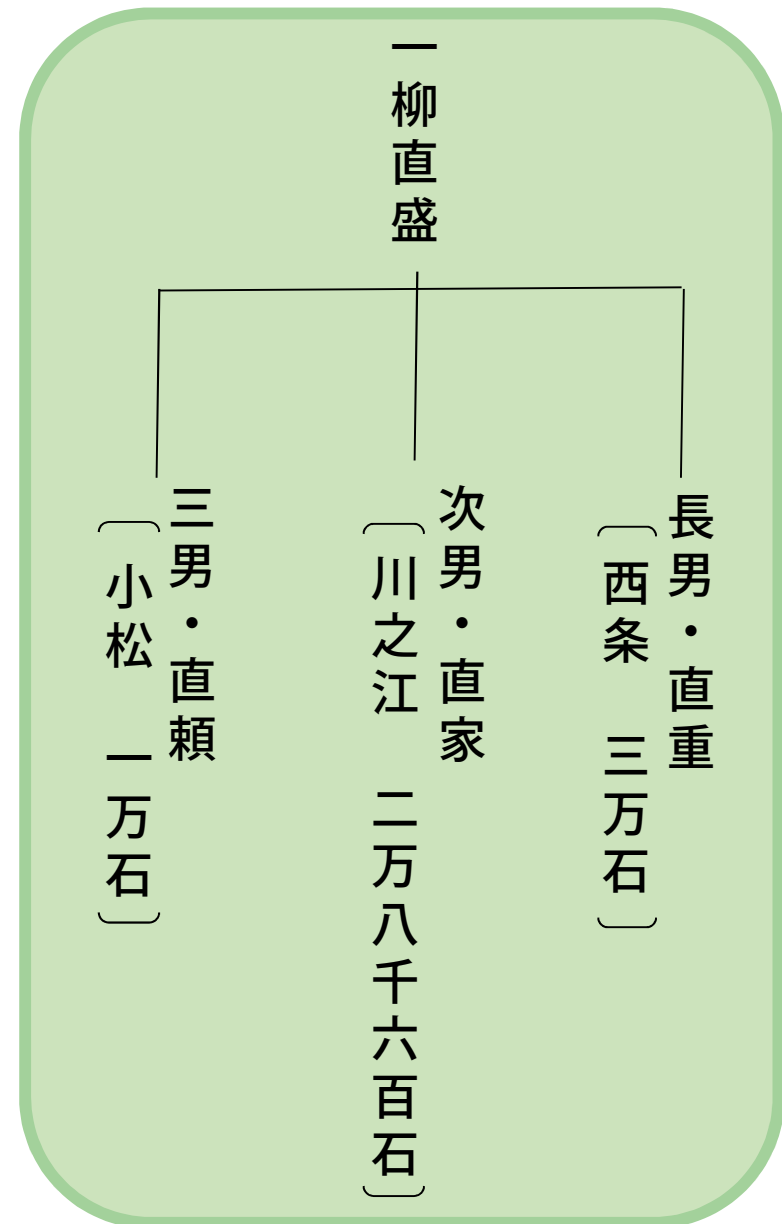
これまでの調査

○文献資料

→西条藩と小松藩の成り立ちや
変遷についての現状把握

○現地調査

→建築様式(細部意匠)や風食から
年代判定



これまでの調査



薬医門



肘壺



天井

これらの形式・形状から、**移築**であると判断

年表

寛永13年 (1636) 6月	3代将軍徳川家光の時 一柳直盛を伊予西条藩6万8600石に転封の発令 直盛72歳の時
8月	直盛 江戸を出発も伊予西条の旅路で病死
11月	遺領を三子へ分与 長男:直重 西条藩3万石 次男:直家 川之江藩2万8600石 三男:直頼 小松藩1万石
	直重が入封、西条平野北部に陣屋、その東西に武家屋敷を建築 町人屋敷を配して陣屋町を築く
寛永15年 (1638)	小松陣屋、家中屋敷、町人町の建設開始 仏心寺を菩提寺として開基
寛永17年 (1640)	小松陣屋完成 直頼入居 ※武家屋敷や町人町の整備は3代頼徳の時代まで続いた
寛文5年 (1665)	直重の子・直興の代に失政などを咎められ改易となる
寛文10年 (1670)	紀州藩初代藩主 徳川頼宣の三男・松平頼純が3万石で入封 再び西条藩が立てられる
1700後半～ 1800年前半	西条・小松陣屋門の再建
明治4年 (1871)	廃藩置県を受けて陣屋は取り壊されるが一部遺構が残る

調査票

調査票【門】

年 月 日 氏名

1. 所在

建築名	
住所	
所有者	
登録	

木鼻	拳鼻	組物
楣	壁材	蹴放
礎石	扉	軸吊り・肘壺

2. 概要

形式	
建築年	
〈根拠〉	

4. 修築

破損状態	
取替材	
当初材	
変更箇所	

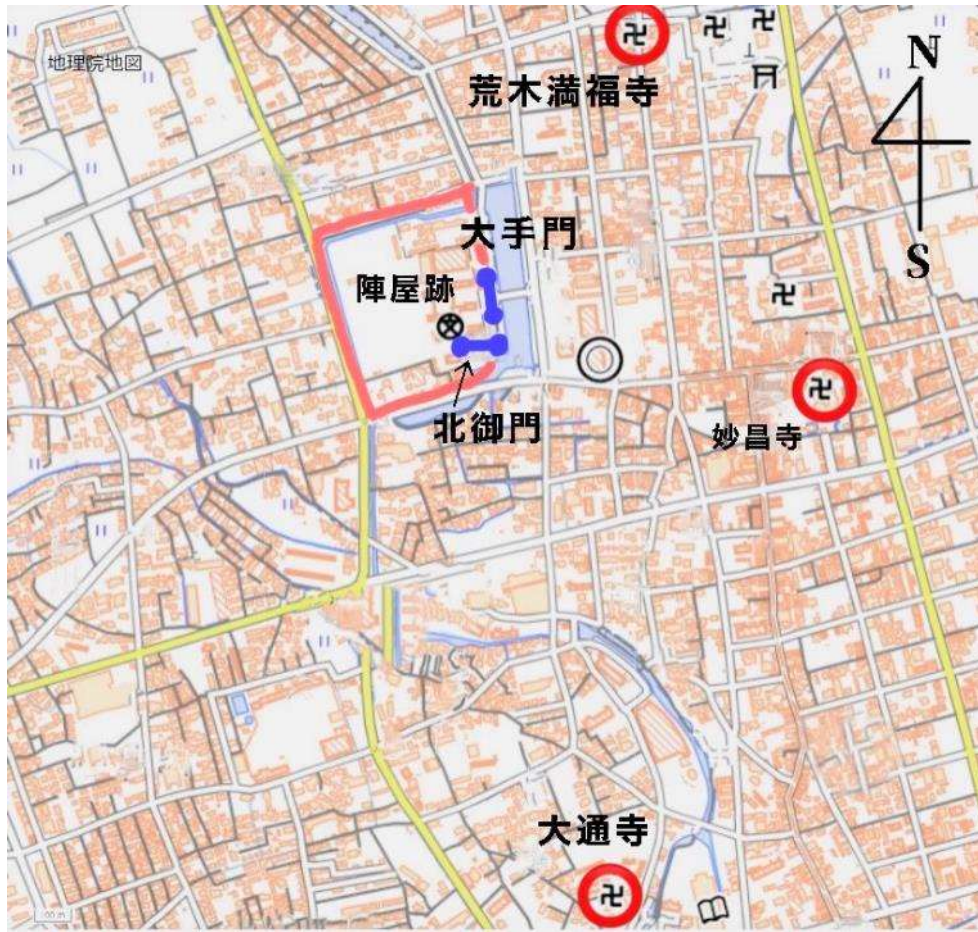
3. 細部

屋根の形	瓦	垂木
天井	冠木	懸魚
束	梁	妻飾
頭貫	虹梁	蟻股
本柱	面取・背割れ	
控え柱	面取・背割れ	

5. 備考

--

調査対象位置関係



西条陣屋

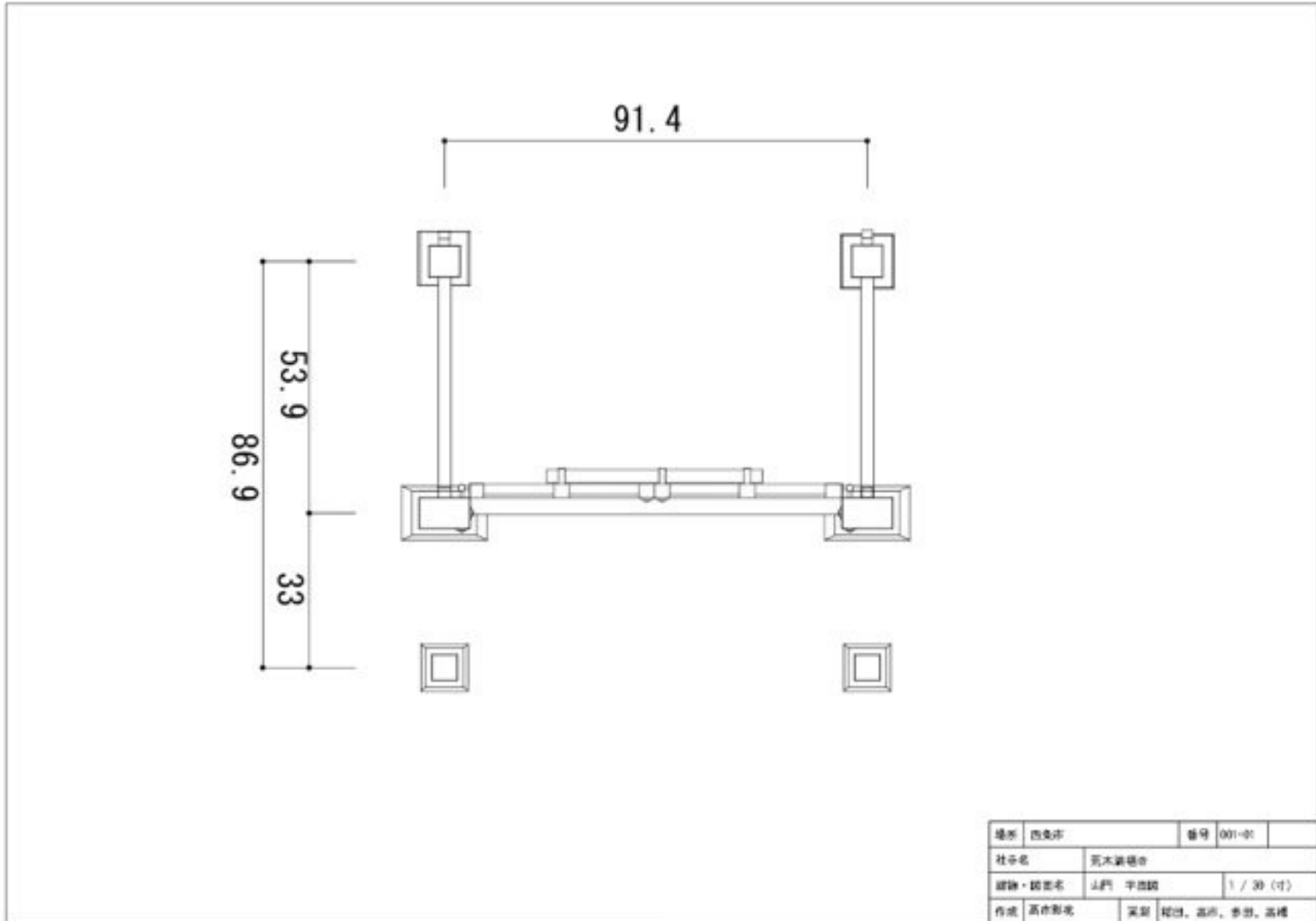


小松陣屋

実測調査 (表)

	名称	女梁	束	拳鼻	懸魚	桁行×梁間 (寸)	高さ (寸)	本柱の太さ (寸)	控柱の太さ (寸)
西条	大通寺山門	渦巻 若葉	太瓶	渦巻	三花蕪	125.6×71.2	157	13.5×7.5	7.5×7.5
	荒木満福寺山門	渦巻 若葉	太瓶	渦巻	猪目	102.4×92.9	151	11×6.5	6.5×6.5
	北御門	渦巻 若葉	×	渦巻	蕪	114.7×41.1	139	10.5×7	7×7
	大手門	絵様無し 虹梁型	太瓶	渦巻	蕪	250.0×88.3	177	13.5×8.6	7.7×7.7
小松	徳蔵寺山門	渦巻	装飾無し	×	蕪	136.0×53.9	111	6.8×4.5	4.5×4.5
	覚法寺山門	無し	×	×	×	143.9×48.3	111	8.4×5.4	5.5×5.5
	仏心寺桜門	無し	粽 (ちまき)	×	蕪	127.7×54.9	122	7.5×5.8	5.3×5.3

CAD完成図



調査内容：西条調査

大通寺山門

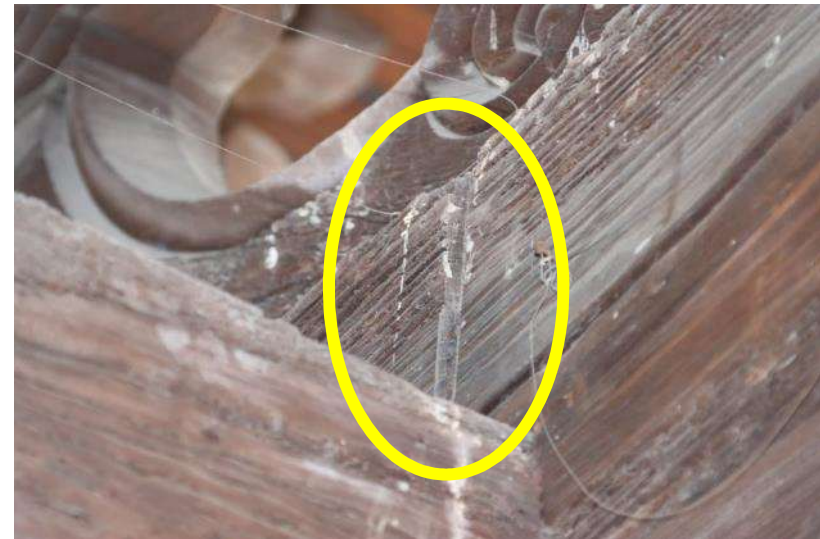
- 前方桁に天井板跡
- 男梁に縦板跡
- 大瓶束に拳鼻跡



大通寺山門



大瓶束：拳鼻跡



男梁：天井を支える縦板の跡

調査内容：小松調査

仏心寺桜門

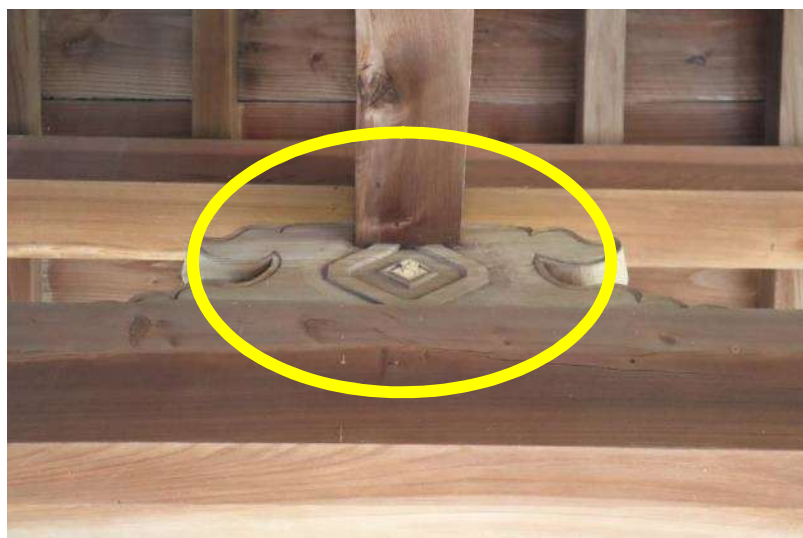
- ・ 正面及び内冠木上部に墓股



修理の際家紋が削られた



仏心寺



内冠木上部：削られた墓股



正面：上の部材に食い込んだ墓股

女梁の比較 (左：西条 右：小松)

大通寺山門



荒木満福寺山門



北御門



渦巻・若葉

徳蔵寺山門



覚法寺山門



仏心寺桜門



渦巻のみ

女梁なし

拳鼻の比較 (左：西条 右：小松)

大通寺山門



荒木満福寺山門



北御門



渦巻入りの拳鼻

徳蔵寺山門



覚法寺山門



仏心寺桜門



笄形

墓股

渦巻入りの拳鼻

懸魚の比較 (左：西条 右：小松)

大通寺山門



三花蕪懸魚

荒木満福寺山門



猪目懸魚

大手門



蕪懸魚

覚法寺山門



懸魚なし

徳蔵寺山門



蕪懸魚

仏心寺桜門



部材の比較から

	西 条	小 松
女 梁	渦巻・若葉入りの女梁 (西条高校大手門を除く)	渦巻の彫刻のみの女梁 または女梁自体なし
拳 鼻	渦巻入りの拳鼻	拳鼻の代わりに墓股や笈形あり (徳蔵寺・覚法寺)
懸 魚	蕪懸魚のほか、 三花蕪や猪目蕪あり	懸魚なしまたは蕪懸魚

- 西条と小松では、西条の方が装飾的である
- 同じ陣屋内で似たような特色が見られる
→同じ陣屋内において、
建築に携わった人や建築年代が同じであると考えられる

柱の太さの比較

〈西条〉 名称	本柱の太さ (寸)	控柱の太さ (寸)	〈小松〉 名称	本柱の太さ (寸)	控柱の太さ (寸)
大手門	13.5 × 8.6	7.7 × 7.7	覚法寺 山門	8.4 × 4.5	5.5 × 5.5
大通寺 山門	13.5 × 7.5	7.5 × 7.5	仏心寺 桜門	7.5 × 5.8	5.3 × 5.3
荒木満福寺 山門	11 × 6.5	6.5 × 6.5	徳蔵寺 山門	6.8 × 4.5	4.5 × 4.5
北御門	10.5 × 7	7 × 7			

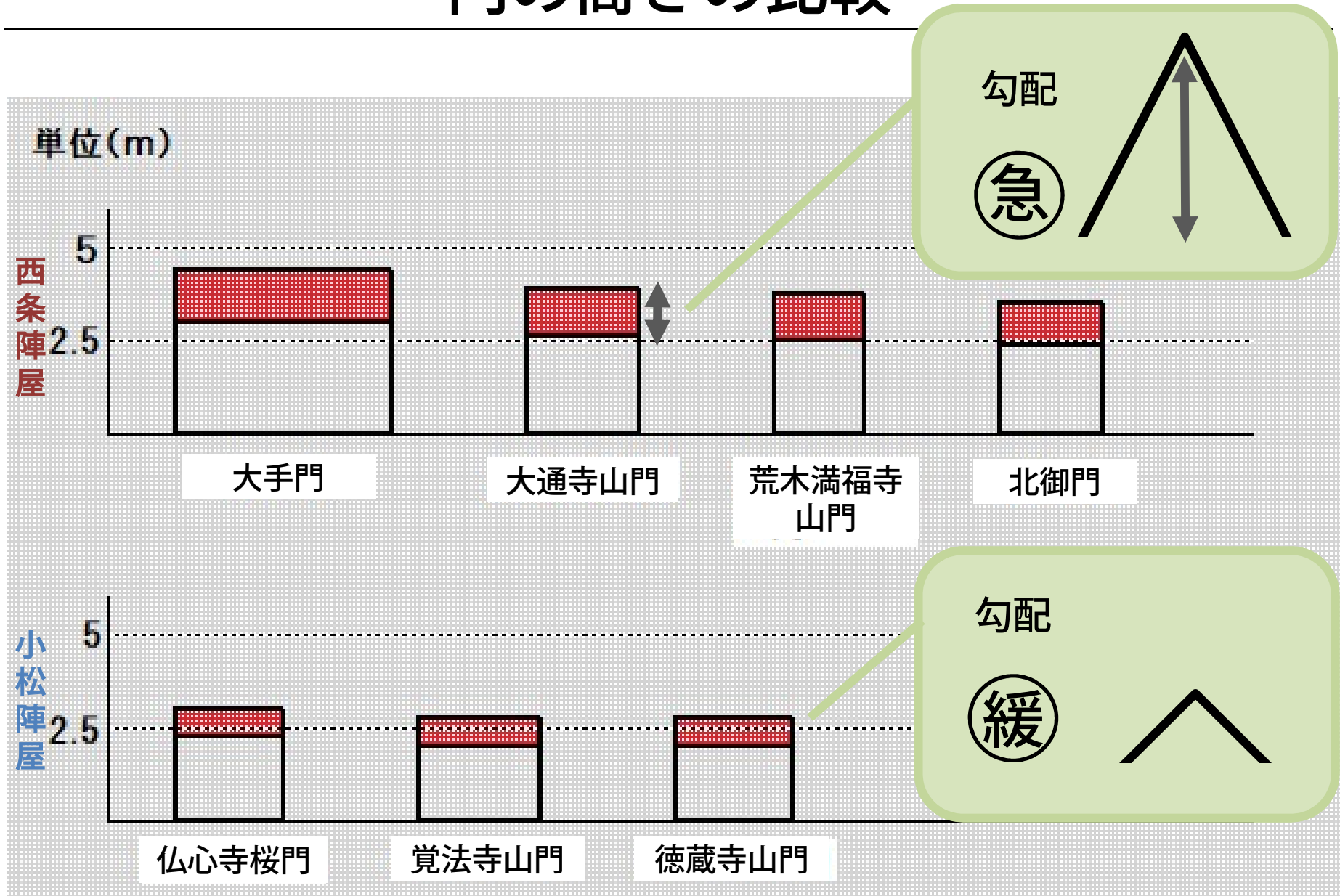
大手門 > 大通寺山門 > 荒木満福寺山門 > 北御門 > 覚法寺山門 > 仏心寺桜門 > 徳蔵寺山門

・ 小松に比べ、西条の柱の方が太い


→ 小松の方が建物の規模が小さい分、風食による劣化が早い

小松は取替材も多かった

門の高さの比較



陣屋内の門の形式と垂木の比較（西条）

名称	門の形式	垂木
大手門	 薬医門	 繁垂木
北御門	 棟門	 吹寄せ垂木
大通寺山門	薬医門	繁垂木
荒木満福寺山門	薬医門	繁垂木

陣屋内の比較（西条）

各門の位置 → 推測（西条陣屋図・西条史談を参考）

大

大手門 > 御庭門 > 西御門 > 北御門

（西条高校正門）

（大通寺山門）

（荒木満福寺山門）

・棟門

・吹寄せ垂木

↳ 陣屋の「正門」にあたり、
最も利用される門

↓

他の門より簡素

西条陣屋内では、装飾的な違いは少ない

陣屋内の装飾比較 (小松)



仏心寺：内部装飾



仏心寺：蕪懸魚



徳蔵寺：簡素な笈形・蕪懸魚



覚法寺：懸魚なし

陣屋内の比較 (小松)

豪華

桜門

(仏心寺桜門)

>

坂下門

(徳蔵寺山門)

>

簡素

竹下門

(覚法寺山門)

より装飾的(豪華)である

- ・ 拝懸魚(中央)と降懸魚(端)の両方がある
- ・ 墓股、粽あり

- ・ 懸魚なし、墓股
- ・ 最低限の装飾



仏心寺桜門



覚法寺山門

まとめ

▶ 格式の判断

規模

装飾

西条陣屋 > 小松陣屋

▶ 特質の明確化

建築年代

細部意匠

修理の痕跡

おわりに

特質の明確化



本質的価値の理解・再認識



保存・活用
文化財の継承

参考文献

- 内田和伸(1997)：移築された近世城郭建築遺構の保存に関する研究. ランドスケープ研究, 60, 5, 459-464.
- 内田和伸(1998)：近世城郭遺構の社寺への移築について. ランドスケープ研究, 61, 5, 459-464.
- 「市指定宇和島城上り立ち門」宇和島市役所HP.
<https://www.city.uwajima.ehime.jp/site/sizen-bunka/4noboritati.html> (最終閲覧日：2022年12月7日)
- 愛媛県埋蔵文化財センター(2014)：西条藩陣屋跡-西条高校体育館改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書-。
埋蔵文化財発掘調査報告書, 185.
- 久門範政(1966)：一柳の時代. 西條市誌, 124-151
- 小松町誌編さん委員会(1992)：小松町誌. 小松町.
- 滋賀県教育委員会(1983)：重要文化財 膳所神社表門修理工事報告書. 滋賀県
- 吉本勝(2013)：放浪の旅に終止符を打った旧西条藩陣屋「北御門」. 西條史談, 89, 57-65.
- 河合勤(1991)：川之江一柳藩の陣屋門遺構について. 伊豫史談, 281, 17-25.
- 愛媛県史編さん委員会(1988)：一〇 陣屋町小松. 愛媛県史地誌II(東予東部)

謝辞（お世話になった方々）

- 伊藤敏昭様（西条市教育委員会管理部社会教育課副課長兼歴史振興係長）
 - 船橋様（愛媛民芸館）
 - 覚法寺様
 - 徳蔵寺様
 - 仏心寺様
 - 荒木満福寺様
 - 西条高校様
 - 大通寺様
-